

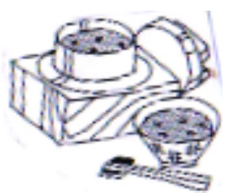
こぼれ話

今の内閣が「全世代型社会保障」のようなスローガンを掲げている。そうした背景に人口減、少子高齢化という現実があるようだ。若い人の働く場が少ない、待遇がいまいち、結婚しない若者の増大などが問題か。還暦を過ぎた4人の同級生が例によって居酒屋で飲み会をした。最初は退職後のお互いの生活のこと、年金に関するなどで熱



わが家の

【めかぶと卵と納豆】
「材料」めかぶ、卵、納豆、削り節、長ネギ、醤油、砂糖。
「つくり方」この料理名はありません。ただ納豆をごはんに乗せて食べるよりは、宮古の特産品と言えぬめかぶを入れて食べたらおいしかったので



勧めてくれるものですね。新鮮なめかぶの潮の香りがこれ

を帯びた。そうしているうちに若者が結婚しないことについて自分の息子、娘を引き合いに話しが盛り上がった。A「若げえもんの給料があまりに低い」。B「日本全体で4分の1が非正規労働者で多くが派遣だから」。Cは酔った勢いで少し演説調に言った。「少す仕事ができるようになれば栄転させられる。単身赴任も少子化の原因だ！」と。一同その熱を帯びた言い分にビックリした。「なんでそう思うのや?」「単身赴任が問題よ」

議会に報告

藤原・新川・千徳の3雨水ポンプ場建設の進捗状況は千徳は3月試運転、他は33年に



2月22日の産業建設常任委員会に表題の3つのポンプ場建設の進捗状況が報告されました。千徳ポンプ場は3月中旬に試運転をし完成。千徳ポンプ場の整備は3月に試運転を行い完成となります。土木工事では水路のボックスカルバートの据付工

事、電気設備工事では据付工事が、機械設備工事でも据付工事が最終段階です。これらの工事完了を経て試運転を行い、3月中完成の運びです。藤原・新川の整備はそれぞれ遅れるが「藤原ポンプ場」藤原ポンプ場建設の全体の工事終了は平成32年

12月末です。土木工事は躯体工事と水路工事が進行中で、建築工事は来年7月完成予定で、械設備と電気設備の工事は来年12月末までの完成の計画です。「新川町ポンプ場」新川町のそれは土木工事の完成は今年の12月末、建築工事は来年10月末、そして機械・電気設備工事は平成33年3月の計画です。一日も早く／台風襲来のたびに肝を冷やすの早期完成が望まれます。

藤原、新川、そして千徳(宮古町)ポンプ場の整備完成によせる住民の思いは本心に切実です。「台風が来る、と放送されただけで荷物を二階に上げたりします」「台風10号の時は結局数か月も奥の部屋でズーと過ごしました。もうこりこりです。一日も早く完成してほしい」などです。紆余曲折はありましたが、安心して暮らせる街づくりという点でも工事の早期完成が望まれます。

最低賃金引き上げと中小企業支援拡充求める請願 本会議で全会一致で採択される



2月27日(水)市議会本会で「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める請願」が全会一致で採択されました。請願者は岩手県労働組合連合会と宮古地域労働組合連合会です。請願の趣旨は

アベノミクスにより大企業の内部留保金は増えたが働く人の実質賃金は下落し、消費支出も減少している。非正規労働者が4割に達し、4人に一人が年収200万円以下のワーキングプアだ。地域最賃は時給で東京985円岩手県762円と大きな格差があり、その生活を支え地域経済を再生するた

読者の文芸欄

短歌 金沢邦臣(田鎖)
雪少しとけて出でたる田の畔に雀・ホオジロ次々とくる
クワッカス一ミリ程に芽生えおり今年も春を吾に恵みて
自注／冬を越すことは鳥たちには人間以上に難しいことなのでしよう。雪のとけた所を見つけてくる時はほんとうに嬉しそうです。



ヤマメやイワナなど溪流に棲む魚たちは水温の変化に敏感で季節の移り変わりを判断する。人間は自分で気温の変化にある程度対応する力、能力を持っていて。が、魚はそれがなかなかできない。水温が低いと動かない。エサが目の前を流れても反応しない。そんな季節の移りかわりの節目がこの時期である。この水温に変化に対応するのは魚だけでなく水中昆虫、砂場の虫である。砂虫(ゴカイの一種)ピンク色)は寒い時は砂の深いところにおいて、気温が上がりはじめると表面近くに這い出してくる。いわゆる啓蟄だ。さあ、解禁である。誰が、どこで、釣果は?すべてが興味津々だ!

